

平成27年度 小松市予算のあらまし



北陸の際立ったまち「国際都市こまつ」をめざして

もくじ

	ページ
1. 予算ってなに？	1
2. 平成27年度の予算はいくら？	2
3. どんな収入があるの？	3
4. 予算は何に使うの？	6
5. 借金（市債）はいくらあるの？	9
6. 貯金はいくらあるの？	9
7. 主な施策の概要	10

1. 予算ってなに？（予算の仕組み）

地方公共団体は、新しい年度が始まる前に、1年間（4月1日から翌年の3月31日まで）の税金や補助金などの収入と1年間の行政サービスに使われる金額を見積ります。この見積りのことを「予算」と言います。

Q. どのような予算があるの？

市の予算は、使う目的によって一般会計、特別会計、企業会計に区分しています。

- 一般会計……税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など市の基本的な仕事をする会計です。
- 特別会計……国民健康保険や介護保険など特定の事業をするために、一般会計とは別に保険料など特定の収入を集めて運営する会計です。
- 企業会計……上下水道や病院で、民間企業のように料金収入などの事業収益により運営する会計です。

Q. どうやって予算が決まるの？

市長が予算案をつくり、市議会の審議・議決をへて決まります。1年間の予算で一番最初に決まる予算を「当初予算」といいます。

Q. 年の途中で予算を変えることはないの？

変えることがあります。「補正予算」といいます。当初予算を変更する必要があるときは、市長が予算の変更案をつくり、当初の予算と同じく市議会の審議・議決をへて変更します。

Q. 予算を使ったあとは？

年度が終わり、1年間の入ってきたお金と使ったお金の結果を「決算」といいます。年度が終わった後、決算書を会計管理者（お金の出し入れを管理する職員）が作り、市長が、市議会の認定を受けます。

2. 平成27年度の予算はいくら？

Q. 会計別の予算はいくら？

一般会計 406億6千万円 (前年度比 +5億8千万円 1.4%増)
 特別会計 326億6千万円 (前年度比 + 1億万円 0.3%増)
 企業会計 203億7千万円 (前年度比 +2億5千万円 1.3%増)
 全会計 936億9千万円 (前年度比 +9億3千万円 1.0%増)

・内訳表

(単位：億円)，△はマイナスを表す。

		27年度	26年度	増減額	増減率
一	般 会 計	406.6	400.8	5.8	1.4 %
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	129.8	117.3	12.5	10.7 %
	簡 易 水 道	0.4	0.3	0.1	33.3 %
	農 業 集 落 排 水	5.9	5.2	0.7	13.5 %
	介 護 保 険	94.9	93.5	1.4	1.5 %
	公 債 管 理	82.2	94.6	△ 12.4	△ 13.1 %
	工 業 団 地 造 成	1.1	1.9	△ 0.8	△ 42.1 %
	後 期 高 齢 者 医 療	12.3	12.8	△ 0.5	△ 3.9 %
	小 計	326.6	325.6	1.0	0.3 %
企 業 会 計	水 道	31.0	32.4	△ 1.4	△ 4.4 %
	公 共 下 水 道	82.7	81.0	1.7	2.0 %
	市 民 病 院	90.0	87.7	2.3	2.6 %
	小 計	203.7	201.2	2.5	1.3 %
合	計	936.9	927.6	9.3	1.0 %

Q. 予算の特徴は？

一般会計・・・歳入（収入）では、景気の回復基調により市税（税金）が前年度から3億円増加し、地方交付税は2億1千万円減少します。

歳出（支出）では、消防救急デジタル無線整備や防災行政無線など、安全・安心な暮らしに必要な公共事業の実施により投資的経費が10億円増加し、退職予定者の減少など人件費3億8千万円が前年度から減少します。

特別会計・・・国民健康保険，介護保険，後期高齢者医療の3つの会計では、医療費や介護費などの社会保障費の増や低所得者対策，制度改正により前年度から13億4千万円増加します。

農業集落排水では、那谷地区施設の処理場詳細設計や管路工事などを行います。

企業会計・・・公共下水道は浸水対策として九竜橋川雨水ポンプ場増設工事を実施し，市民病院では車椅子専用駐車場屋根設置やCT装置や透析装置など高度医療機器の更新を行います。

3. どんな収入があるの？

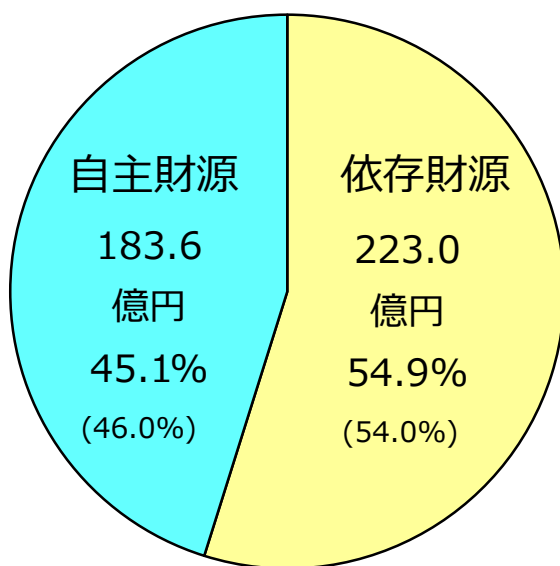
一般会計収入
406.6億円

自主財源	市税	皆さんが納めた税金です。	158億円
	負担金や使用料	保育料や施設の使用料などです。	9億6千万円
	繰入金	年度調整のため、貯金から取り崩す額です。	7億2千万円
	諸収入など	資源ごみ売却収入など他に区分されない収入です。	8億8千万円
依存財源	国・県支出金	国や県からの補助金です。	95億8千万円
	地方交付税	全国で一定の行政サービスを提供するためなどで、	58億7千万円
	譲与税・交付金	国や県からもらえるお金です。	28億円
	市債	銀行などから借り入れる市の借金です。	40億5千万円
合計			406億6千万円

Q. 自主/依存財源の割合は？

「自主財源」とは、市が自主的に収入しうる財源です。市税、負担金や使用料、繰入金などがあります。

「依存財源」とは、国や県により決定される財源です。国・県支出金、地方交付税、地方譲与税、市債などがあります。



小松市の一般会計の収入のうち、約45.1%が「自主財源」です。

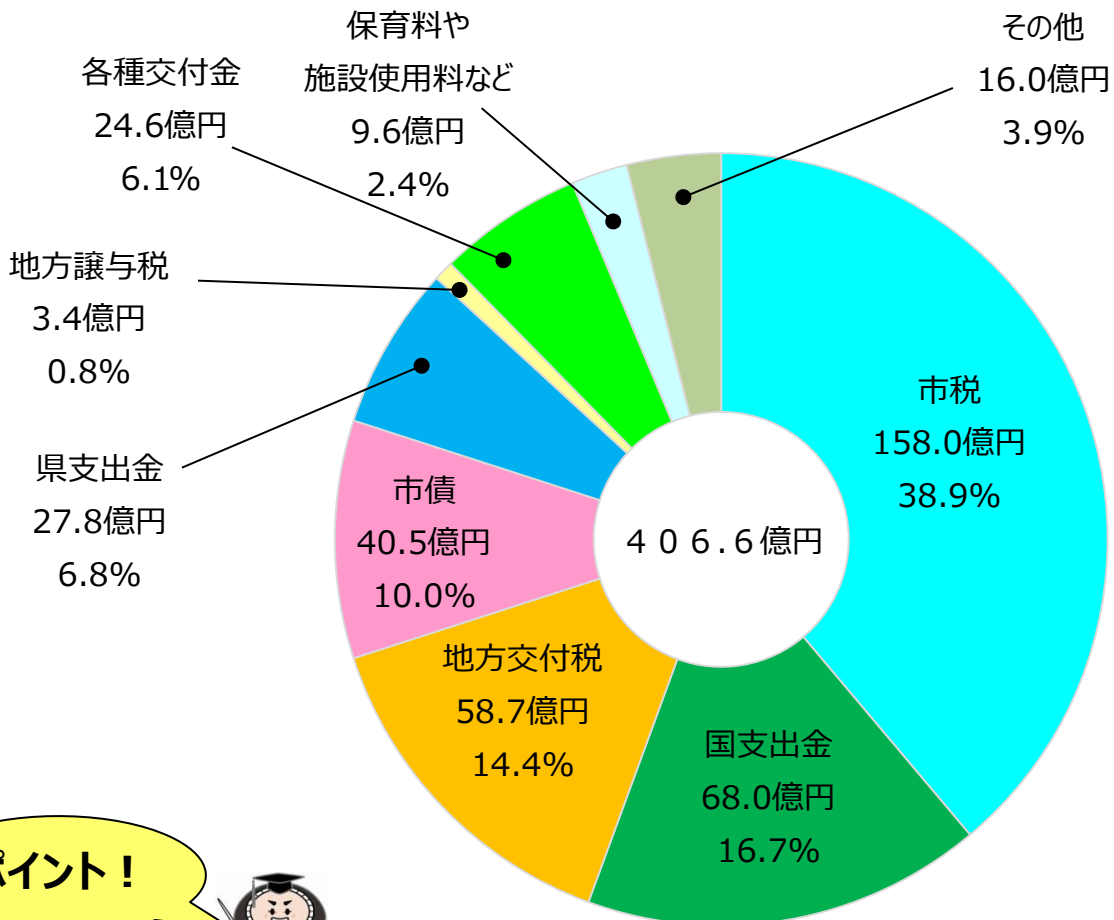
約54.9%が「依存財源」です。

保育園から認定こども園へ移行する20園の保育料6.1億円が市収納から園へ直接収納となるため、「自主財源」が減少しています。

安定的な収入を確保するため、「自主財源」の比率を上げていくことが大切です。

※()内は、H26年度の数値

Q. 一般会計収入の内訳は？



ポイント！



- 市民の皆さんが納める税金が、収入の38.9%をしめます。
- 地方交付税は58億7,000万円で、前年度から2億1,000万円減少しています。
- 地方消費税交付金は18億7,000万円で、消費税率改定による影響が通年化されるため前年度から5億7,000万円増加しています。
- 市債（借金）は、繰上償還など市債残高の改善に努めた結果、前年度より1億5,100万円減少しています。

・市税の内訳

・固定資産税（土地や家屋を所有している人が納めます）	65億円
・個人市民税（所得に応じて納めます）	55億円
・法人市民税（会社の利益に応じて納めます）	19億円
・軽自動車税（軽自動車を持っている人が納めます）	2億2,000万円
・市たばこ税（タバコを買った人が納めます）	7億4,400万円
・その他（入湯税や都市計画税）	9億3,600万円

・国・県支出金

特定の目的（道路をつくるなど）のために国や県から交付されます。

- ・国庫支出金 67億9,916万円
- ・県支出金 27億7,832万円

・各種交付金の内訳

- ・利子割交付金 3,500万円
- ・配当割交付金 4,500万円
- ・株式等譲渡所得割交付金 3,700万円
- ・地方消費税交付金 18億7,000万円
- ・ゴルフ場利用税交付金 6,300万円
- ・自動車取得税交付金 6,000万円
- ・地方特例交付金 6,000万円
- ・交通安全対策特別交付金 1,500万円
- ・国有提供施設所在市助成交付金 2億7,500万円

・地方交付税

地方自治体の税収の不均衡を調整し、全国どの地域も一定の行政サービスを提供できるように、国から交付されます。金額は、自治体の財政状況によって決まります。

- ・普通交付税 52億円
- ・特別交付税 6億7,000万円

・地方譲与税

国税として徴収した収入の一部を一定の基準により地方自治体に譲与されます。

- ・自動車重量譲与税 2億2,700万円
- ・航空機燃料譲与税 800万円
- ・地方揮発油譲与税 1億400万円

・その他の収入

- ・分担金及び負担金（保育料など） 3億7,974万円
- ・使用料及び手数料（施設使用料や住民票手数料など） 5億8,088万円
- ・財産収入（土地などの売却収入や基金の利子など） 1億7,396万円
- ・繰入金（基金からの繰り入れ） 7億1,570万円
- ・繰越金（前年度からの繰り越し） 1千円
- ・諸収入 6億9,623万円

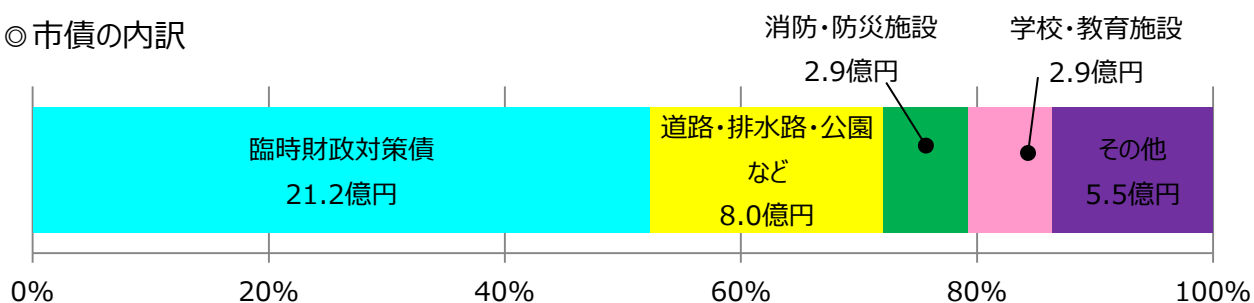
Q. 借金をするのはなぜ？

道路や防災対策には一度に多額の経費がかかります。そのお金を調達する1つの手段として借金をすることがあります。

そのほか、国から地方交付税としてもらえるお金が、国の事情により減らされ「臨時財政対策債」として市が借金をしています。

平成27年度は、前年度から1億5,100万円減少しました。内訳は下記のとおりですが、半分程度が「臨時財政対策債」となっています。

◎市債の内訳



4. 予算は何に使うの？

一般会計支出
406.6億円

義務的経費

人件費	55億1,066万円
扶助費	82億1,195万円
公債費	65億7,650万円
小計	202億9,911万円

毎年、必ず支出しなければならない経費です。

- ・人件費…職員の給料など
- ・扶助費…子どもや障がい者、高齢者などの福祉や医療にかかる経費
- ・公債費…借金の返済にかかる経費

一般行政経費

物件費	56億1,912万円
補助費等	22億9,239万円
維持補修費	1億6,955万円
一部事務組合負担金	1億3,289万円
上下水道・病院への交付金	31億92万円
小計	113億1,487万円

施設の維持管理費や、行政サービスを行うための事務経費です。

- ・物件費…光熱水費や消耗品費、通信費など
- ・補助費等…公益団体に対する補助金など消費税率改定の影響を緩和するための臨時交付金も、ここに含まれます。
- ・一部事務組合負担金…複数の自治体が共同で事務を行う組合に対する小松市の負担金
- ・上下水道・病院への交付金…事業の公益性から、費用の一部を国の基準に基づき負担する経費

投資的経費

普通建設事業(補助)	32億7,624万円
普通建設事業(単独)	21億1,755万円
小計	53億9,379万円

道路や公園、防災・減災対策など、建設事業にかかる経費

その他の経費

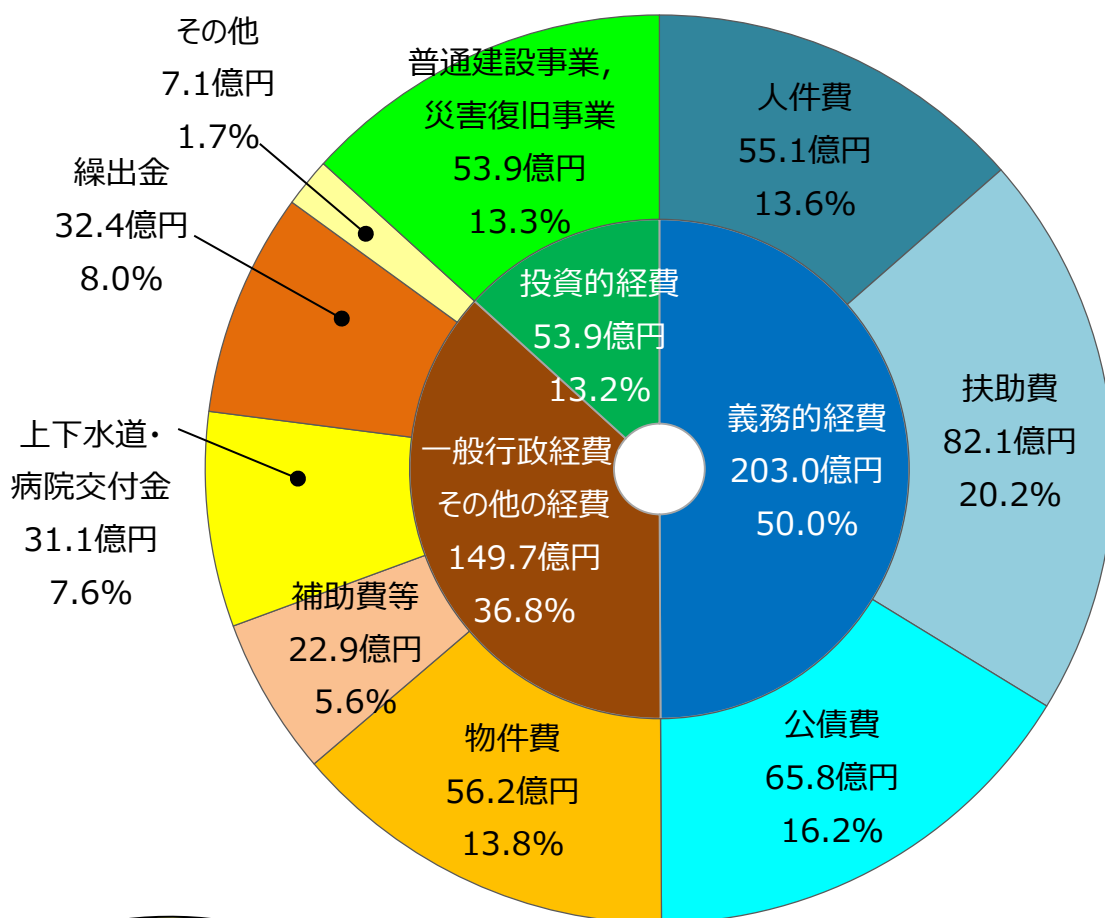
積立金	1億7,184万円
貸付金	2億2,766万円
繰出金	32億4,273万円
予備費	1,000万円
小計	36億5,223万円

上記以外の経費です。

- ・積立金…基金（市の貯金）への積立
- ・繰出金…特別会計に対し負担する経費
国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の社会保障にかかる特別会計への負担分です。
- ・予備費…緊急に支出が必要となったときのために準備している予算

合計	406億6,000万円
----	-------------

Q. 一般会計の支出の内訳は？



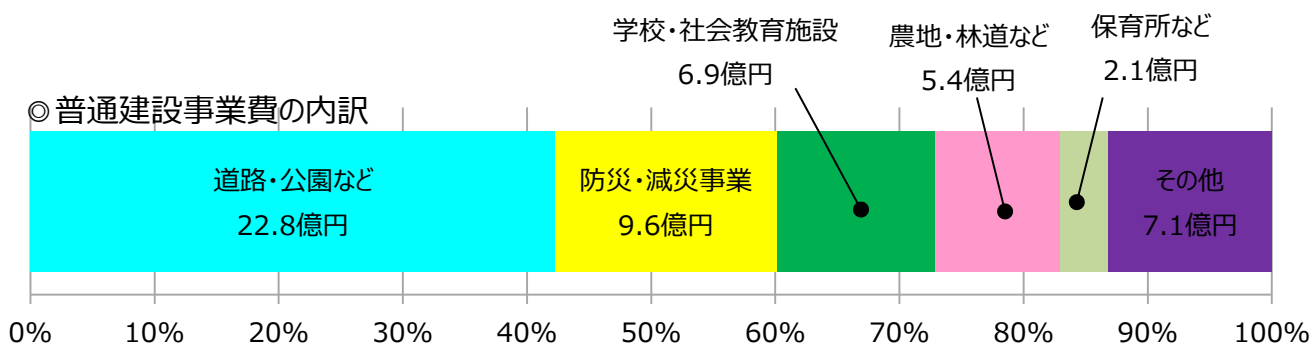
ポイント！



- 義務的経費は、前年度から約6億1,000万円減少しましたが、全体の半分を占めています。前年度と比較して、人件費は退職職員減少により約3億8,000万円の減、扶助費は認定こども園移行による保育料の園直接収納化のため児童運営費が約2億3,000万円減少しました。
- 一般行政経費は、マイナンバー制度のシステム整備や普及促進、小学校教科書改訂により、前年度と比較して約1億9,000万円の増額となりました。
- 普通建設事業は、消防救急デジタル無線整備など暮らしに必要なインフラ整備のため、前年度から10億円の増額となりました。

① 普通建設事業費

平成24年度に小・中学校耐震化100%を達成し、平成25年度にはサイエンスヒルズこまつや曳山交流館みよさなどの大型事業が完了しましたが、消防救急デジタル無線整備や防災行政無線整備など安全・安心な暮らしに必要なインフラ整備を国・県等の補助金を活用して実施するために、前年度に比べて10億円の増額となりました。

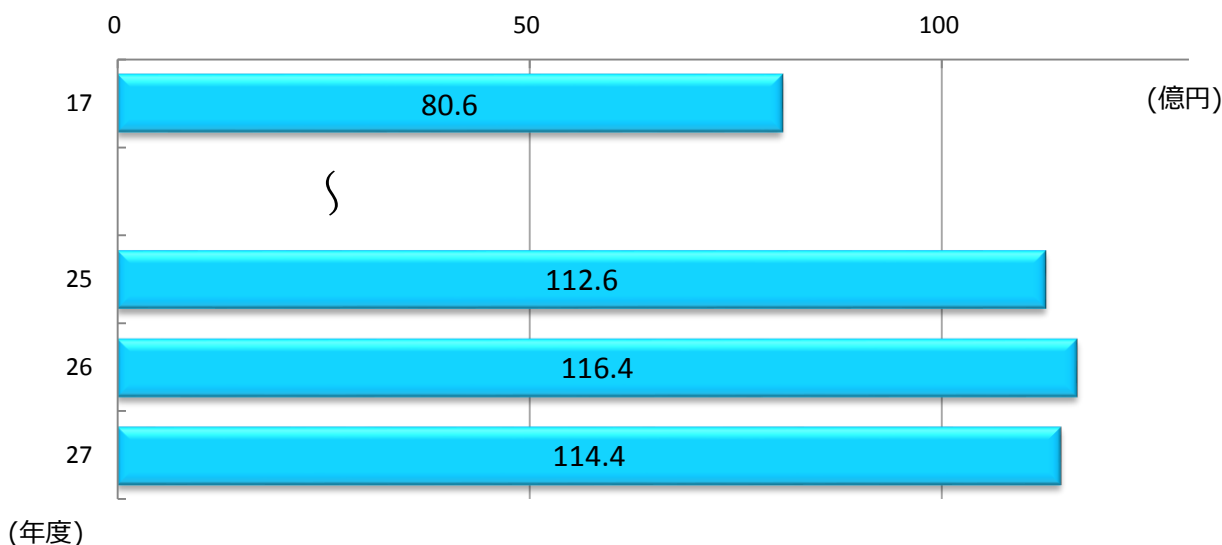


② 社会保障費

少子・長寿社会の進展により、社会保障費は年々増え続け、10年前に比べると33.8億円増加しています。

平成27年度は子どもの医療費の無料化や国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療への繰出金は増額となりましたが、保育園の認定こども園移行による制度改正のため、前年度に比べて2.0億円減となっています。

◎ 社会保障費の推移



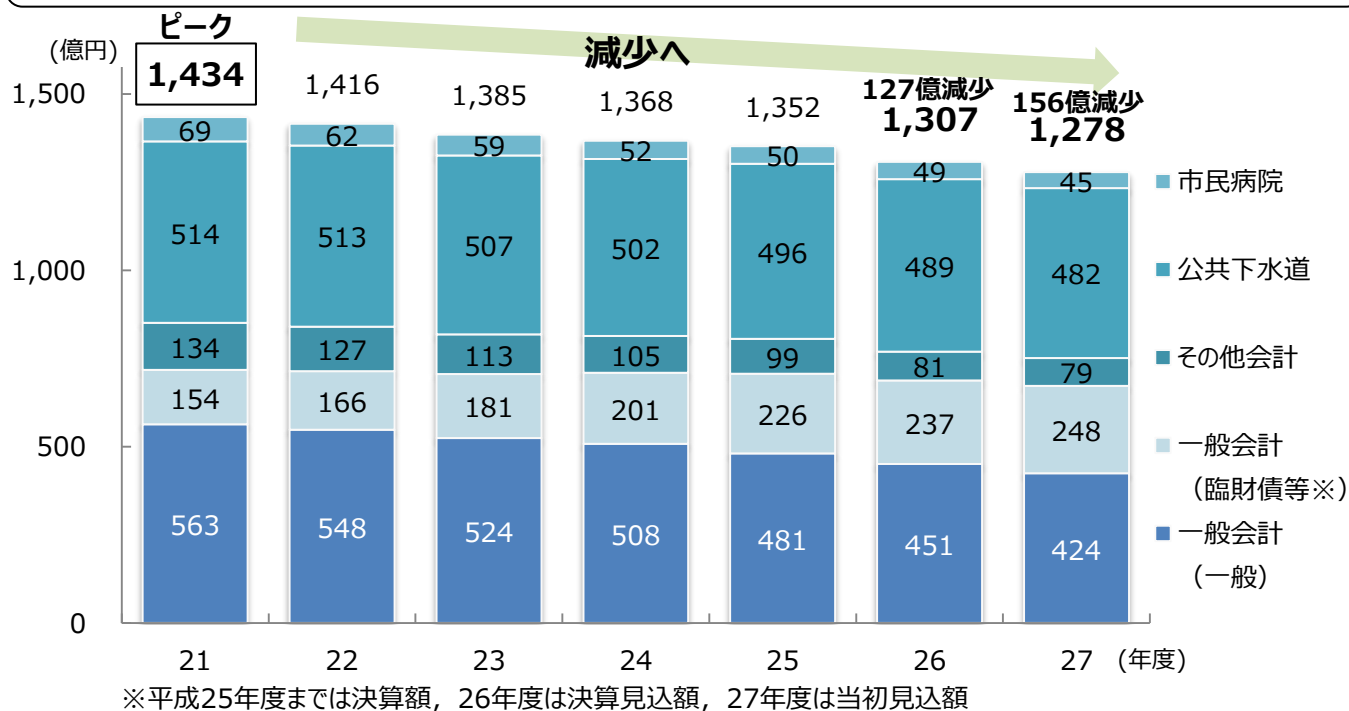
※平成25年度までは決算額、26・27年度は予算額

5. 借金（市債）はいくらあるの？

小松市の借金(市債)の残高は、繰上償還等を行ってきたことなどにより、平成22年度より全会計で減少に転じています。

将来負担軽減のため、10年ビジョンにおいて「将来負担200億円軽減」を目標に掲げ、改善に努めています。

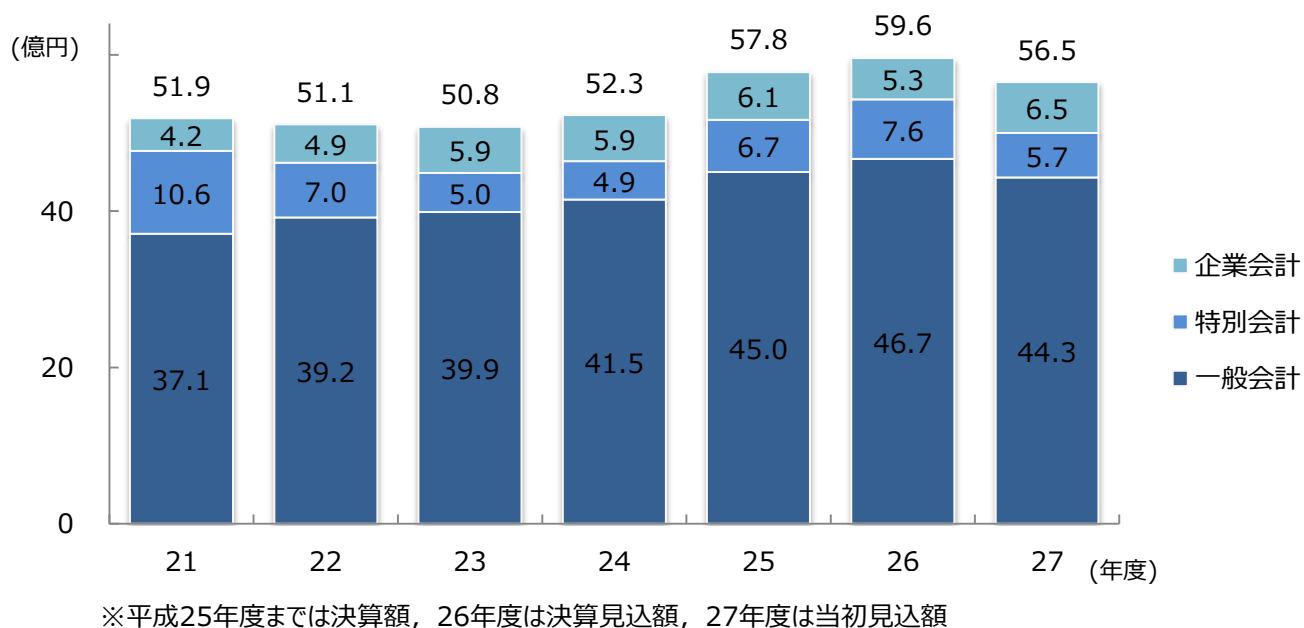
全会計において、平成26年度末はピークである平成21年度末から127億円、平成27年度末では156億円改善する見込みです。



6. 貯金はいくらあるの？

平成27年度は貯金を活用して国民健康保険税の減額分をカバーしたため、特別会計で1.9億円減少しています。一般会計では年度間の財政調整のため2.4億円減少しています。

今後、借金の減少と合わせて貯金の確保に努めていきます。



7. 主な施策の概要

平成27年度に実施する事業のうち、主なものをテーマ別にお知らせします。

(内容の一部に国の平成26年度補正予算「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」を活用した3月補正分を含みます)

こまつ創生戦略

「地方版総合戦略」の策定

1,000万円

今後5か年のこまつ版「総合戦略」の策定



【3月補正】

ICTの活用でもっと便利なまちに

1億6,884万円

- ▶ 社会保障・税番号制度の準備・普及促進
- ▶ コンビニで住民票など証明書の発行



【3月補正】

知の拠点

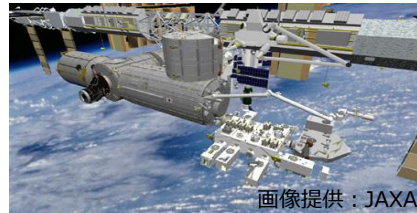
～小松へあたらしいひとの流れをつくる～

3,800万円

- ▶ 小松短期大学、こまつ看護学校の再編・発展に向けた改革案の具体化検討

【3月補正】

- ▶ 「JAXA宇宙実験棟「きぼう」のモックアップの一部を、ひとものづくり科学館内に「宇宙センターこまつ」として設置



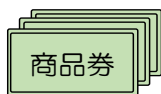
画像提供：JAXA

地域消費喚起・生活支援

プレミアム付き商品券

6,400万円

プレミアム率15%の商品券を発行
(発行総額4.25億円)



【3月補正】

やさしいまちづくりカード

6,800万円

プレミアム率20%のICカードを発行
(発行総額2億円)



【3月補正】

やさしいまちづくり

「全国トップレベルの出産・子育てしやすいまちに

7億10万円

- ▶ 18歳以下のこどもの医療費を窓口無償化（平成27年10月～）
- ▶ 保育料の第3子以降を無料化（平成27年4月～）【3月補正】
- ▶ 放課後児童クラブの対象児童拡大（～小学校6年生）に伴う施設整備
- ▶ 昨年に続いて子育て世帯臨時給付金（3,000円）・臨時福祉給付金（6,000円）を支給



高齢者や障がいのある方がくらしやすいまちに

280万円

公共施設のバリアフリー調査やおもいやり駐車場の整備



環境にやさしいエコのまちに

1億980万円

- ▶（仮称）エコロジーパークこまつ・クリーンセンターの建設（平成30年竣工予定）
- ▶ 世界初の環境にやさしい次世代低公害バス購入



予防先進都市に向けて

早期発見・対策

742万円

歯科口腔健診を40～70歳の10歳ごとから、20～80歳の5歳ごとに拡大



シニアが元気に活躍できるまちに

1億2,365万円

相談支援窓口の充実
（高齢者総合相談センター
6センター4ブランチ→10センターへ）



豊かなスポーツライフの推進

6, 180万円

- ▶末広テニスコートのリニューアル（人工芝コート8面）
- ▶障がい者スポーツ振興のため指導者育成やスポーツ用具購入等
- ▶日本スポーツマスターズ2015石川県大会の開催（サッカー、バスケットボール）



安全・安心なまちづくり

14億298万円

- ▶防災行政無線個別受信機を設置（平成27年度96町内）
- ▶消防救急無線をデジタル化し、消防救急活動をICT化
- ▶小学校8校、中学校5校の体育館に天井落下防止ネットを設置



北陸の成長を引っばるまちづくり

もっとたくましい「ものづくり」のまちへ

8, 710万円

正蓮寺エリアに新産業団地を造成



全国にアピールする1次産業

1, 420万円

- ▶「環境王国こまつ」の拠点施設「せせらぎの郷」をリニューアル（実施設計）
- ▶「第17回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」の開催（平成27年11月）

人・モノ・文化が交差する南加賀のターミナル「JR小松駅」

1億6, 040万円

▶北陸新幹線建設に伴う負担金、新幹線小松駅舎のデザイン検討

▶民間事業者による小松駅南ブロックの複合施設建設の助成



豊かな地域資源を活かして

大きな節目を追い風に

1, 100万円

- ▶第66回全国植樹祭開催
(平成27年5月17日開催)
- ▶北陸新幹線金沢開業にあわせ、石川百万石加賀祭りや九谷焼360年南加賀 3市フェア開催等



おもてなし体制の充実と 観光資源のみがきあげ

2, 350万円

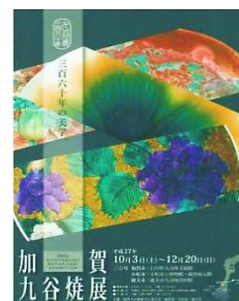
- ▶おもてなし力の向上 (まちなか装飾, コンシェルジュによる案内)
- ▶Wi-Fiスポット整備 (木場湯公園, 航空プラザ, 大倉岳高原スキー場ロッジ) 【3月補正】



歴史ある伝統文化を活かした 新しい小松文化の創造

1, 760万円

- ▶平成28年の曳山250年に向け、曳山資料のデータベース化等
- ▶市民伝統芸能祭の開催
(平成27年11月14日～15日)
- ▶加賀九谷焼展の開催
(8月1日～9月6日 東京ステーションギャラリー, 10月3日～12月20日南加賀会場)



曳山250年
Hikiyama 250th
KOMATSU JAPAN

平成27年度小松市予算のあらましについて

もっと詳しく 知りたい方は…

小松市HPの組織別案内(財政課)のページをご覧ください。

[発行]平成27年4月 小松市総合政策部財政課
〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地
TEL: 0761-24-8144 (直通) FAX: 0761-24-8190
メール: zaisei@city.komatsu.lg.jp
HP: <http://www.city.komatsu.lg.jp/zaisei/>